

長野県職員採用試験（大学卒業程度）

公表用例題（水産 2 題）

例題 1

次の文章は、水質汚濁の評価に関する記述である。文章中の空欄 a～e に入るものの組合せとして正しいのはどれか。

有機物による水質汚濁の程度は COD や BOD によって評価され、COD では の働きにより、BOD では の働きにより、それぞれ有機物が分解される際に消費する酸素量を測定する。COD は で、BOD は での水質汚濁の指標として主に用いられる。COD と BOD のいずれも、数値が ほど有機物が多いことを示す。

	a	b	c	d	e
1. 微生物	酸化剤	河川	湖沼や内湾	低い	
2. 微生物	酸化剤	河川	湖沼や内湾	高い	
3. 酸化剤	微生物	湖沼や内湾	河川	低い	
4. 酸化剤	微生物	湖沼や内湾	河川	高い	
5. 酸化剤	微生物	河川	湖沼や内湾	高い	

正答番号 4
出題分野【水産環境科学】

例題 2

水産資源の資源量推定法に関する次の文章中の空欄に入るものとして正しいのはどれか。

水産資源の資源量推定の方法は、漁業から独立した科学的な調査によって得られたデータを用いて資源量を推定する直接法と、主に漁獲統計資料から資源量を推定する間接法に大別することができる。コホート解析（VPA）、DeLury 法、面積密度法、目視法のうち、の二つは直接法に該当し、残る二つは間接法に該当する。

1. コホート解析と DeLury 法
2. コホート解析と面積密度法
3. コホート解析と目視法
4. DeLury 法と目視法
5. 面積密度法と目視法

正答番号 5
出題分野【水産資源学】